

日の出町 みどころマップ





①日の出山

秩父多摩甲斐国立公園の一面にあり、四季を通して多くのハイカーが訪れる人気スポットです。標高902mの山頂からの眺望はすばらしく、奥多摩の山々はもちろんのこと、関東平野も一望できます。空気が済んでいれば都心の高層ビル群やスカイツリーも確認できます。



②つるつる温泉

アルカリ性のつるつるした感触の湯であることから「つるつる温泉」と名付けられました。首都圏から至便な天然温泉で、美肌の湯としても知られています。洋風大浴場の「生涯青春の湯」と和風大浴場の「美人の湯」が週替わりで男湯女湯が入れ替わります。パノラマ食堂もあり、ハイキングや里山散策のあとの疲れを流すのにオススメです。



③白岩滝

大久野松尾地区から日の出山へと続く「白岩の滝ハイキングコース」の入口付近に白岩滝があります。平井川の支流、タルクボ沢の中流に位置し、付近には白岩滝を含め大小17の滝が連続しています。その中でも最も大きな2つの滝が白岩滝です。白岩滝の下流側の滝は雨乞の滝とも呼ばれ、かつてここで雨乞いの儀式が行われていたそうです。



④高原社

大久野肝要地区にある高原社は享保7年（1722）に建立されたといわれています。「にってんしゃ」とも呼ばれ、天照大神と月詠命が祀られています。苔むした参道の奥にある本殿とご神木のスギの木が厳かな雰囲気をかもしだしています。

古くから御神木として地元の人に大切にされてきたスギの木は、町の天然記念物に指定されています。推定樹齢は400～500年で、樹高は40mを超え、幹周りは6mちかくもあります。その大きさは町内で確認されているスギの中では最大のもので、



⑤さかな園

大久野肝要地区にある自然休養尊さかな園では、溪流釣りやマスのつかみ取りが楽しめます。園内にはバーベキューハウスもあり、釣りたてのマスを焼いて食べることもできます。また、釣り竿や具材と道具のそろったバーベキューセットも用意されているので、手ぶらで気軽にアウトドアが満喫できます。



⑥日の出山荘

大久野長井地区にある日の出山荘は日米の親善と東西の冷戦構造を終結に導き、世界平和に貢献した首脳会談「ロン・ヤス会談」が行われた場所を公開することにより、歴史的意義と成果を長く後世に伝えることを目的として、平成19年(2007年)11月11日に開館しました。昭和58年(1983年)11月11日、当時の中曽根康弘内閣総理大臣は自身の所有する日の出山荘に、ロナルドレーガンアメリカ大統領を招き日米首脳会談を行いました。他にも、ゴルバチョフソビエト連邦大統領や全斗煥等、各国の要人も多数訪れています。



⑦シダレアカシデ

大久野幸神地区、幸神神社の参道にあるアカシデの木です。本来、アカシデの木は空に向かい枝を伸ばすのですが、この木は枝が綺麗に枝垂れているのが特徴です。シダレアカシデはアカシデの変異種で、その種をまいても殆どこの木は枝が枝垂れることはありません。力強い新緑の時期も良いですが、葉をつける前の冬の時期に見事な枝振りを眺めるのもお勧めです。



⑧白山神社

大久野新井地区にある白山神社は水口地区の山神社、坂本地区の神明社と並び町内で最も古い神社のひとつです。加賀国石川郡(現在の石川県)の白山比咩神社[しらやまひめじんじゃ]を総本社とし、約1200年前に現山崎宮司の始祖が創建したといわれています。現在の本殿は総ケヤキ造りで嘉永3年(1850)に建て直されました。一枚板で作られた扉はととも見事で、ケヤキの年輪がきれいな模様となっています。



⑨西福寺

大久野坊平地区にある西福寺は、除災招福や商売繁昌、家内安全、交通安全ばかりでなく、子授けにもご利益があります。また、毎年1月に行われる初不動護摩供（火渡り荒修行）は、春を呼ぶ多摩地区の風物詩「秋川不動尊火渡り」として親しまれています。



⑩大久野いじ

大久野坊平地区にある大久野のフジは推定樹齢が400年で、根周りが3mあり、アラカシとスギに巻きついた様子は、まるで大蛇がとぐろを巻いているように見えます。周囲にも多数のツルを伸ばし、野生のフジとしては都内でも有数のもので、都の天然記念物に指定されています。

花の見ごろは、例年4月末から5月中旬の間の10日間ほどです。このフジの花は下から見上げるのではなく、丘に登り上から見下ろします。



⑪風祭獅子舞

大久野玉の内地区では毎年8月の第2土曜日に、三嶋神社での神事の後に、地区内3箇所にある庭場で風祭獅子舞が奉納されます。この獅子舞は雨乞獅子とも呼ばれ、かつては雨乞いなどにも奉納されていたそうです。演者は頭に獅子頭を被りおなかに太鼓を括り付け、1人で1匹の獅子を演じ、3匹の獅子が同時に舞います。この様な系統の獅子舞を「一人立三頭獅子舞」や「風流獅子舞」などと言い、関東地方を中心に東日本で主に伝承されているもので、町の文化財に指定されています。



⑫塩田堤のサクラ

平井塩田地区にある町民グラウンドの付近を流れる平井川の堤は、塩田堤の名で親しまれています。春には堤に咲く108本のソメイヨシノが平井川の清流に映えます。毎年花の咲くころには桜まつりの提灯が飾られ、町民グラウンドではイベントも催されます。



⑬鳳凰の舞

平井宮本地区にある春日神社では毎年9月29日に近い土日の祭礼で国の重要無形民俗文化財に指定されている鳳凰の舞が奉納されます。鳳凰の舞は江戸の要素を含む「奴の舞」と、上方の要素を含む「鳳凰の舞」の二庭で構成されています。全国的にもあまり類例のない貴重な民俗芸能で、地元の人々の手により大切に伝承されています。元々は雨乞いの舞だったのですが悪疫退散の舞としても奉納されているそうです。



⑭平井の山車

平井宮本地区の春日神社と、道場地区の八幡神社で毎年9月29日に近い土日に行われる秋の祭礼には、総勢5基の山車が繰出します。宵宮に、平井の宿通りで両神社の山車が集合して行われる競り合いは圧巻です。



⑮妙見宮

平井谷ノ入地区にある東光院境内の小高い丘の上には関東でも珍しい韓国風の極彩色の七星殿が建っています。現在の建物は昭和62年に韓国の資材と職人によって建てられたものですが、その歴史は古く、天武天皇の時代まで遡ります。常に北の空の中心に位置する北極星を、運命をつかさど妙見菩薩として祀っています。毎年5月3日には恒例の「妙見まつり」が催され、優雅な韓国舞踊や国内では珍しい韓国舞踊農楽隊などが披露されます。



⑯閻魔王坐像

平井三吉野下平井地区の保泉院の境内にある閻魔堂に安置された木造閻魔王坐像は室町中期に仏師了戒によって造られたといわれています。像の高さは89cmあり、ヒノキの寄木造で、豪快な鎌倉彫刻の特徴をよくあらわしていて、都の文化財に指定されています。平成18年に大掛かりな修理が行われ造像当時の姿に復元されました。

まちで見られる生き物たち



オオムラサキ

タテハチョウ科の昆虫で、成虫は翅を広げるとオスが約10cm、メスが約12cmほど。日本のタテハチョウ科の中で最も大きなチョウです。九州から北海道までのほぼ日本全土の雑木林に生息します。日本の国蝶で、格調高い華麗な姿から「世界に誇る日本の代表的なチョウ」として日本昆虫学会において選定されました。主に町内の雑木林が多い丘陵部などで見ることができます。



トキョウカンヨウワ

夜行性の両生動物。主に水辺に近い丘陵地に生息し、卵は三日月状の形状をしています。幼生はウーパールーパーのような形状をしており、成体の寿命は15年以上といわれています。町の天然記念物に指定されていて、主に町内の丘陵部より東側で見ることができます。環境省のレッドデータブックでは絶滅危惧種に指定されている希少生物です。



モリアオガエル

樹上で生活する陸性の両生動物で、初夏になると、池に張り出した樹上で、泡状の卵を産卵します。日の出山荘にある池でも、水面に垂れた枝に産み付けられた卵を見られることがあります。町の天然記念物に指定されていて、町内のほぼ全域で見ることができます。



ゲンジボタル

ホタル科の昆虫で、成虫は15mmほど。日本の蛍の中でも最も大きな種類で、九州から本州に生息しています。幼虫は清流の流れが緩やかなところで、カワニナという巻貝を食べて成長します。尾部を淡い黄緑に光らせてオスとメスがコミュニケーションを行い、光り方のパターンは地域ごとに違うそうです。大久野細尾地区から上流の平井川で多く見られます。